

実践『ペルソナ』通信 (No. 97)

「カメラとカメラアプリ」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「カメラとカメラアプリ」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査結果から、カメラアプリの所持数は平均よりも多く所持していました。そして、所持しているカメラアプリは写真を撮るものと編集と加工するものの両方所持している人が多くいました。カメラアプリにおいても、撮影者の好みによってカメラアプリの使用場面が変化していました。Instagramで写真を投稿する際、ノーマルカメラで撮影したものをInstagramで加工したから投稿している人が多くいました。カメラアプリで撮影すると画質が悪くなってしまうため、Instagramに投稿する写真は、高画質のものを投稿できるように意識しているのではないかと考えました。

調査結果のポイント

(1) A面でのカメラアプリの平均所持数3個に比べて、アプリ所持数が多い。

A面の調査ではアプリの平均所持数は3個という結果でしたが、B面ではアプリを所持している人が多い結果となりました。中には9個以上所持している人もおり、カメラアプリだけで一瞥が2画面にわたっている人もいました。多くのアプリを所持する理由としては、フィルターや機能、強みがアプリごとに違うことがあげられます。自撮りや人物の被写体に強いSNOWとUlike、食べ物が美味しそうな色味で撮れるFoodie、インスタントカメラのようなレトロな色味で撮影できるFUJI、文字入れなど写真編集の機能のあるLINE Cameraなど、異なる強みを持ったアプリを複数所持している傾向がみられました。

(2) 写真を撮るアプリと加工・編集アプリを両方所持している人が多い。

写真を撮るときに使っているアプリだけでなく、撮影後に加工するアプリも所持していました。加工アプリは、手軽にできるものから、文字入れや画像透過など特定のものに特化しているものまで幅広く所持していました。

(3) Ulikeは自撮り他撮りなど人物の撮影に使われている。

Ulikeは他のアプリと比較して、人物を撮る場面に利用されていました。Ulikeの特徴と

して、「ナチュラルな写真が撮ることができ、自然に盛れる」という点から人物を撮るときに使用される傾向があるのではないかと考えました。

(4) Foodie の被写体は食べ物派と風景派がいる。

Foodie は食べ物撮影に特化したアプリですが、その被写体は様々でした。Foodie を使って風景を撮っている人もいました。フィルターの使い勝手などからアプリ側が推奨・想定するシーン以外でも利用されていることがわかりました。

(5) ノーマルカメラは風景を撮るときに使用されている。

スマホに元々入っているノーマルカメラは風景の撮影に多く使用されていました。理由として、ノーマルカメラは起動時間が早くアプリよりも手軽に直観的な撮影ができる点、ノーマルカメラは画質が高いため、引きで撮る風景写真に適している点が理由としてあげられます。また風景撮影に特化したアプリがあまりないことも要因として考えられます。風景撮影に適したアプリは現状では少ないため、リリースされれば実は隠れた需要があるのではないのでしょうか。

(6) Instagram に投稿される写真は、こだわりがある。

Instagram に投稿される写真の撮り方には独自のこだわりがみられました。手前のものを大きくみせる被写体の配置センスや後ろの背景など細かい構図にまで気を使っていることがわかりました。また、自分好みの加工に工夫することで過去に投稿した写真との統一感が生まれ Instagram で目に留まりやすい写真になると考えられます。

調査概要

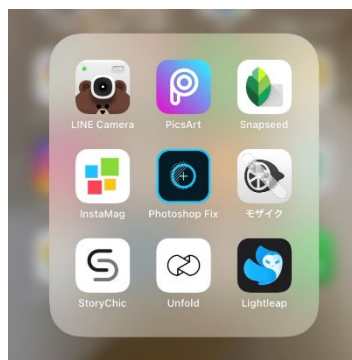
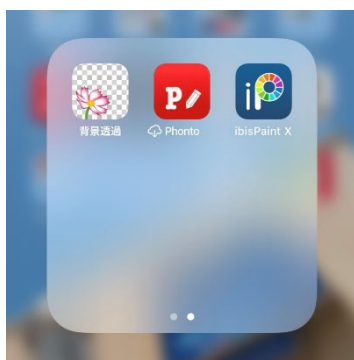
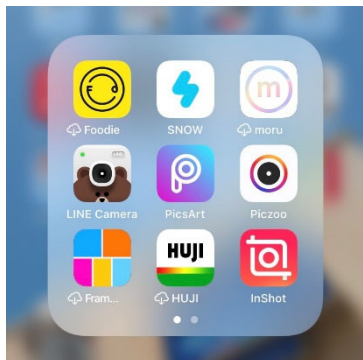
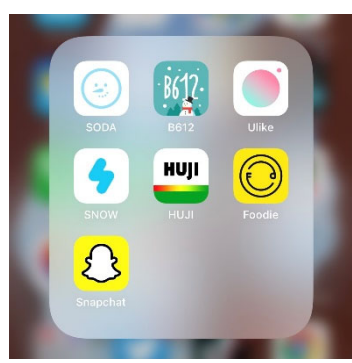
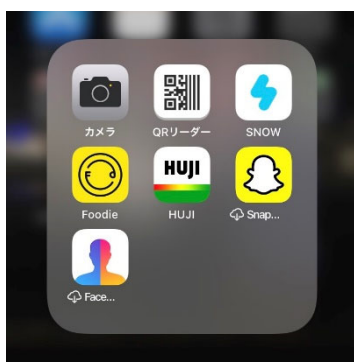
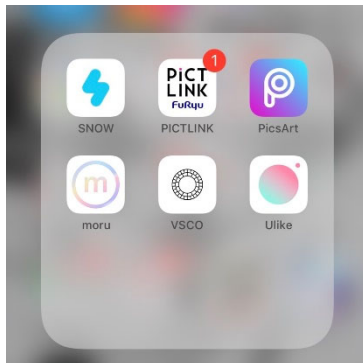
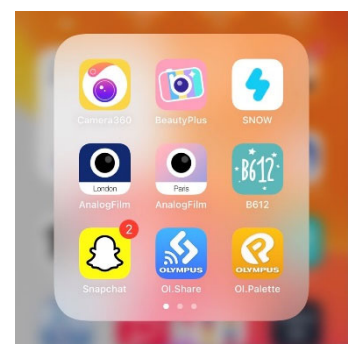
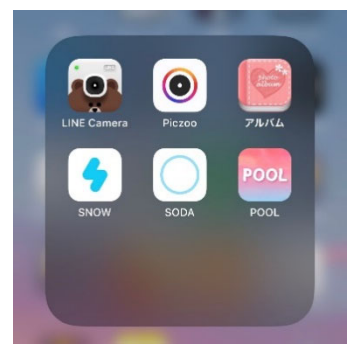
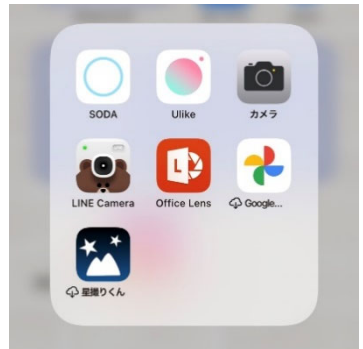
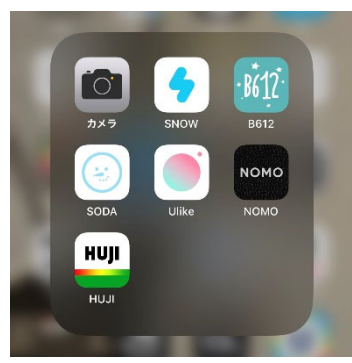
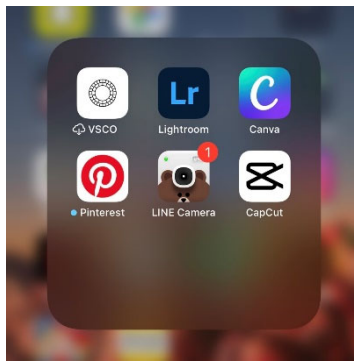
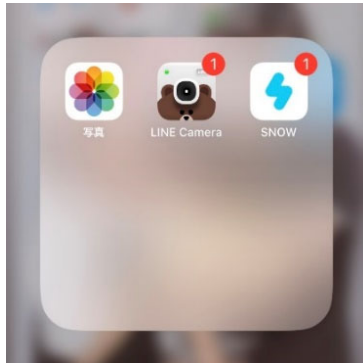
- 調査対象：実践女子大生
- 調査方法：スノーボールサンプリングによる対象者の写真提供
- 調査期間：2020年12月
- 調査場所：ウェブ

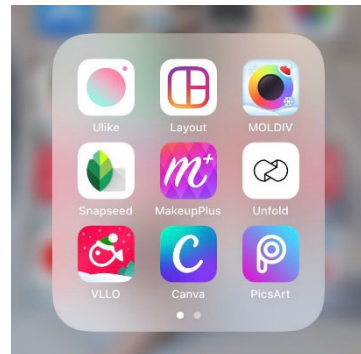
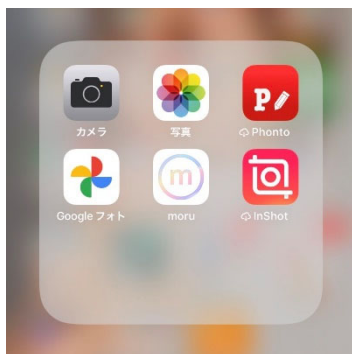
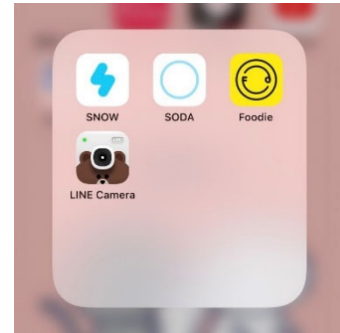
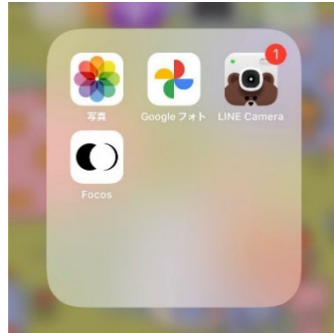
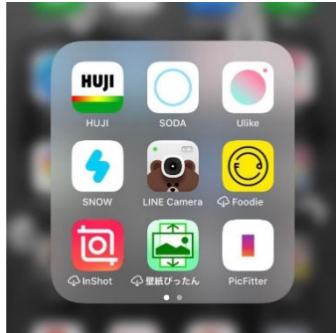
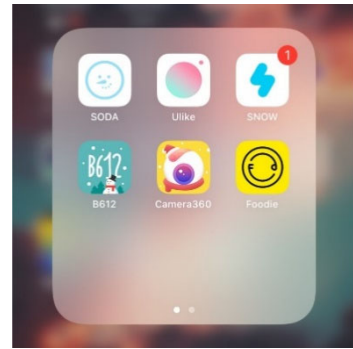
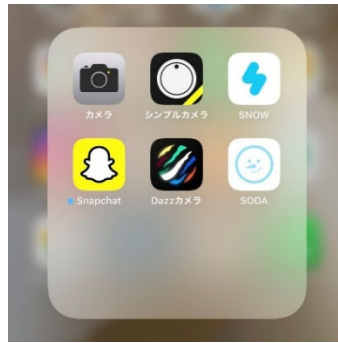
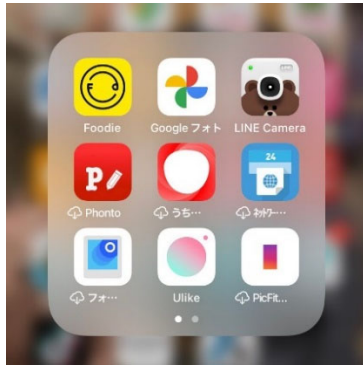
調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 伊藤佑夏・菅原七菜・瀧本美結・増田瑤弓

写真

【所持しているカメラアプリ】



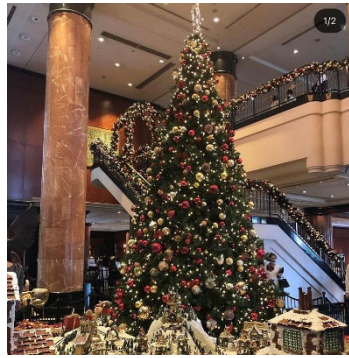
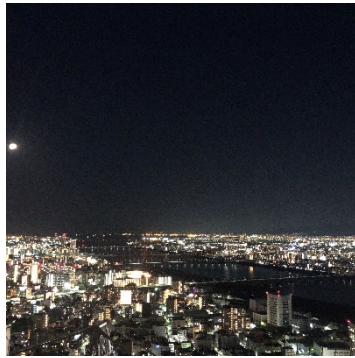


【最近撮った写真】

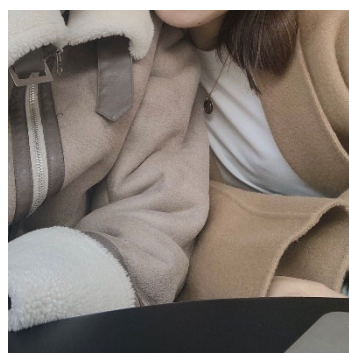
【B612】



【Foodie】



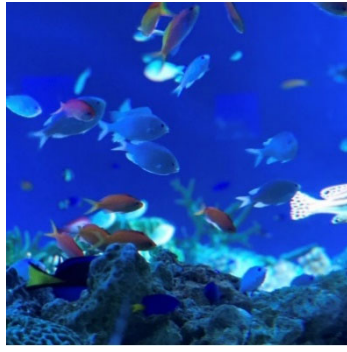
【Ulike】



【SNOW】



【SODA】



【その他】



VSCO



snapseed

星撮くん



focus

HUJI

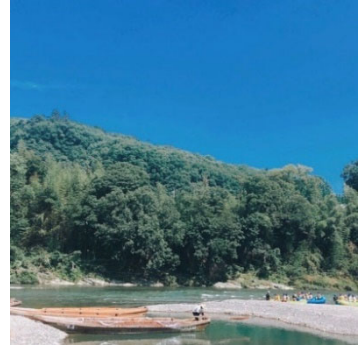
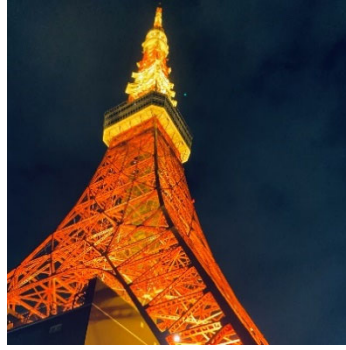
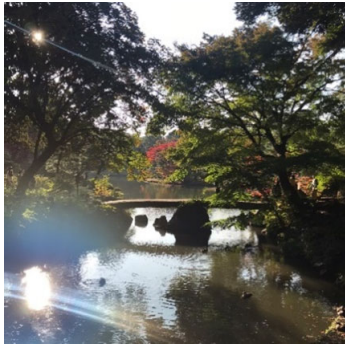


focus

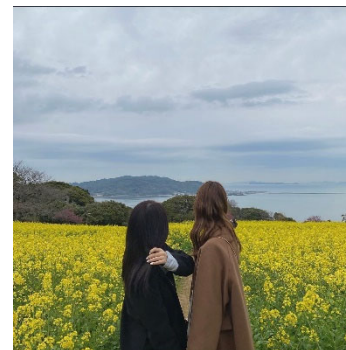
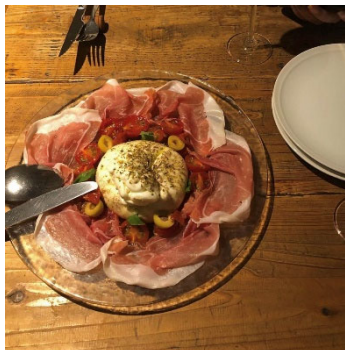


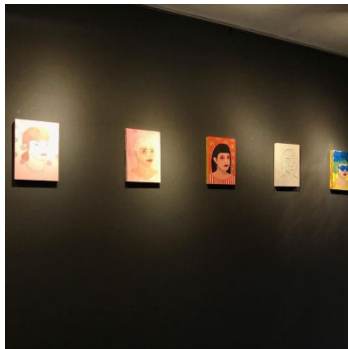
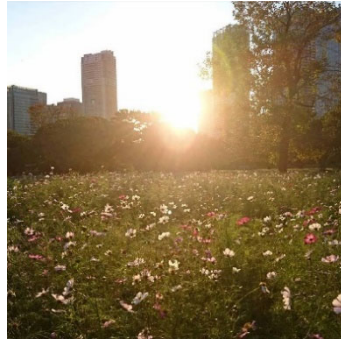
moru

【ノーマルカメラ】



【インスタに投稿した写真】





調査後記

今回の調査を通じて、カメラアプリを多く所持しており、撮影者の好みによってカメラアプリが使い分けされていました。また、被写体の配置センスや背景、撮影する高さにより一人一人の個性がみえこだわりを持っていることがわかりました。Instagramに投稿する写真においては、高画質かつ彩度が明るい写真を意識して投稿していることがわかりました。前回のペルソナ調査よりも回答数などが少なかったため心配でしたが、無事に完成することができたよかったです。

今回の調査での反省点を今後に生かし、より良い調査と分析ができるよう励みます。調査にご協力いただいた方々への感謝を申し上げます。